

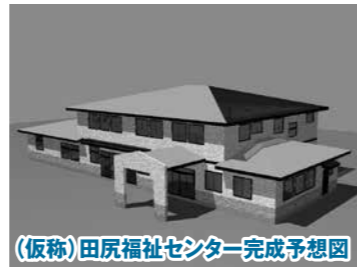
田尻デイサービスセンター平成27年5月オープン!

田尻支所では、平成27年4月に新設開所いたします「(仮称)田尻福祉センター」内に5月1日より「田尻デイサービスセンター」がオープンいたします!

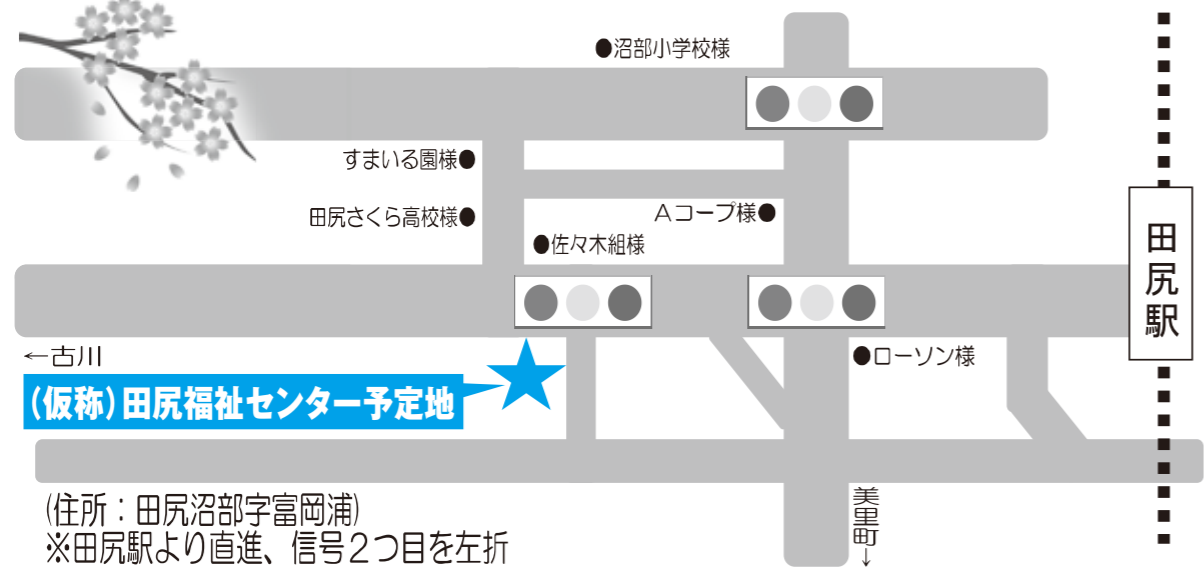
オープンにあたり、利用を希望される皆様に募集しております! 地域の皆様に末永くご利用していただけるよう、きめ細やかなサービスの提供に努めて参ります!

ご利用のご相談は「田尻居宅介護支援事業所」(38)1216までお気軽にご連絡ください!!

また、あわせまして、スタッフの募集も行っておりますので、「大崎市社会福祉協議会田尻支所」(電話:39-1236)までご連絡ください!



(仮称)田尻福祉センター完成予想図



職員募集

福祉の職場で働きたい方を募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

(仮称)田尻福祉センター 平成27年4月OPEN

※その他、他事業所(勤務地)でも募集しています。

◆職種 保健師・看護職員・介護職員・ケアマネジャー・ホームヘルパー

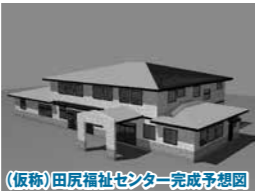
◆勤務地 地域包括支援センター
居宅介護支援事業所
訪問介護事業所

◆待遇 通勤手当有
社会保険等完備
退職金制度有(勤続1年以上)
※詳細については、当会給与規程に基づき決定いたします。
・パートタイムでの勤務可
・勤務時間等、相談に応じます。

◆賞与 年2回: 6月、12月
◆年齢/性別 不問
◆募集人数 15名程度

◆応募条件
・保健師…保健師資格
・看護職員…看護師資格(看護師・准看護師)
・介護職員…特になし
・ケアマネジャー…介護支援専門員資格
・ホームヘルパー…ホームヘルパー2級以上、介護職員初任者研修修了者

◆応募方法
次の書類を職員厚生課宛に送付してください。
書類選考の上、採用試験日の連絡をいたします。
(1)履歴書(自筆のもの・写真添付)※履歴書は当会ホームページに掲載。(市販のもの可)
(2)各資格証明書等の写し(各資格取得見込証明書を含む。)
(3)新卒者の方は、卒業証明書(見込可)・成績表
※応募に関する個人情報については、採用試験以外の目的には一切使用せず、秘密は厳守いたします。また、応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。



(仮称)田尻福祉センター完成予想図

【連絡先】社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会 職員厚生課

〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町二丁目5-1(大崎市古川保健福祉プラザ3階)

☎ 0229-21-0550

平成26年度 おおさき福祉の心コンクール★入選作品のご紹介

最優秀賞

福祉作文の部
小学生の部

右手が教えてくれた事〜三つの福祉の心〜

古川第五小学校 四年

御澤 音巴



私の右手は生まれつき不自由です。くつひもを結んだり、名札を付けたたり外したりする事も、自分一人では出来ません。また握力がほとんどないので、細かい動作が出来ないのです。両手を使っても困ります。そして、何となく、いつもはつかなくて、右手をかくしたい気持ちになつてしまいます。右手が思ったように使えない事で自信が持てなくて、引つ込み思案になつてしまふのです。

三つ目は、ありがたさ。と言えぬ感の心です。それが、三つの福祉の心でした。一つ目は、あきらめないでやり通す心。みんなと同じやり方では、出来ません。私ですが、工夫すれば、出来た事もありました。例えば、三年生の時の事です。担任の守先生が、なわとびが出来ない私のために、なわとびの右手の持ち手の部分に取手を付けてくれたのです。握力がなくて、なわとびが持てない私のために、先生が工夫してくれました。そのおかげで、なわとびが出来るようになったのです。なわとびは私には、出来ないとあきらめていたもので、とべた時は、とてもうれしかったです。このなわとびの事で工夫すれば、私にも出来る事を、あきらめないでやり通す福祉の心を学びました。



「危ないですよ。」私はこの一言が、いせませんでした。目の不自由な女性が歩行者信号が赤だということに気づかず、横断歩道を渡ろうとしていたのです。

「相手の立場になって行動する。」これも、助け合いに必要なこと。私は、小学生の時、学校の授業で「白杖体験」を行いました。目を隠して白杖を使い、道を歩きました。友達に補助してもらったのですが、まっすぐ進むことさえ難しく、物にぶつからないか、とても不安でした。聞こえる音、点字ブロック、白杖だけを頼りに、二歩一歩確かめるように歩きました。この体験をしたため、あの目の不自由な女性の気持ちが少しだけですが理解できたのです。あの女性の立場になって考えたとき、信号が赤だということを誰かが教えてくれたら助かるだろうと思えました。私は、実際に行動することはできませんでしたが、相手の立場になって考え、声をかけようと思えました。助け合いは、お互いに相手のことを考えて行動することで成り立つのだと思います。

最優秀賞

福祉作文の部
中学生の部

「助け合いとは」

松山中学校 三年

高橋 華純

